

わきのしま

平成27年2月2日
多治見市立脇之島小学校
学校報 第10号

「鬼は外！ 福は内！」

旧暦の「立春」は、今の暦では2月4日、その前日が「節分」です。この節分の夜に豆をまいて鬼を追い払うという風習は、室町時代に中国から伝わったと言われています。

鬼は鰯の頭が嫌いであると昔から言い伝えがあり、とげのある柊（ひいらぎ）は、鬼の目を突くということで、鬼の侵入を防ぐための手段として、鰯の頭を冬の柊の小枝に刺して玄関や勝手口に置くようになりました。現在の多くは、煎った大豆を升に入れて神棚に供えた後、「鬼は外、福は内」と唱えながらまいています。

さて、子供たちには、この「節分」を、自分の中に潜む「弱い鬼」「怠ける鬼」を外に勢いよく投げ出す良い機会としたいものです。学年のまとめをする大切な時期でもあり、この1年を振り返り、「どんなことができるようになったのか」「まだまだ努力を続けることは〇〇だなあ」などとお子様と話をすることで来年度へのめあてが見つかるかもしれません。すぐには結果として表れないことの方が多いと思われませんが、焦らずじっくり取り組み、継続していくことで、きっと「続けて努力してよかった」と「福」が舞い込むのではないのでしょうか。



2月19日は今年度最後の授業参観です。子供たちの姿を温かく見守っていただきますようご協力をお願いいたします。本年度は、授業参観後に地区集会は行いません。なお、地区集会は3月4日に予定しております。

こどもスタッフ・PTA 役員・地域の皆様ありがとうございました。

1月18日(日)に脇之島小学校の運動場でたこ揚げ大会、中央公園でどんど焼きが行われました。

たこ揚げ大会では、こどもスタッフのみなさんが受付係を行ったり、企画・運営を行ったりしてくれていました。当日は天候もよく、また、たこ揚げには最適な風が吹き、空高くたこが揚がっていました。そのたこを見ながら子供たちも大喜びで笑顔が一杯でした。

また、中央公園ではPTA 役員の方々が中心となって豚汁を地域のみなさんに振る舞って見えました。長蛇の列の中、豚汁を手渡すPTA 役員の方々が笑顔、そして、豚汁をいただく地域のみなさんも笑顔、気持ちの良い一日でした。

これも、こどもスタッフやPTA 役員の皆様が前日までに準備をいただいたお陰と感謝しております。とても、すがすがしい一日をありがとうございました。

